

2020年度学生生活調査の結果について

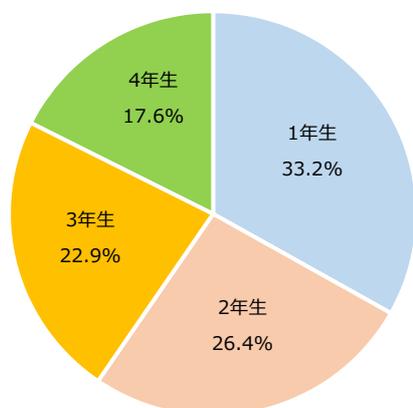
2020年9月25日～10月5日に実施した学生生活調査では、たくさんの学生の皆さんから回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。調査結果は、すでに個人が特定されない形式で集計・分析をおこなっており、学長をはじめとした学内の教職員に報告されています。今後、教育活動支援の貴重な資料として活用いたします。ここでは、調査のうち一部を抜粋して学生の皆さんにご報告します。

■ 調査対象：学部1年～4年生 10,992名（9/25時点で休学の学生を除く）

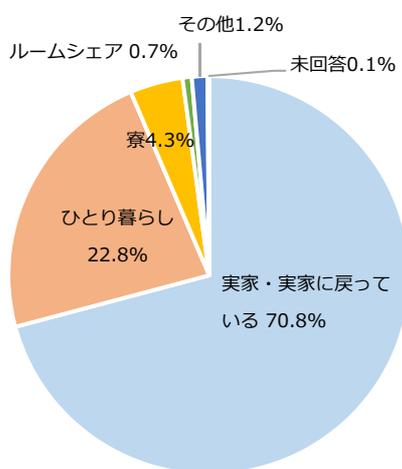
■ 有効回答者数：4,734名（回答率43.1%）

※複数回答の設問は、回答者数を分母にして割合を算出しているため、合計が100%を超えているものがあります。

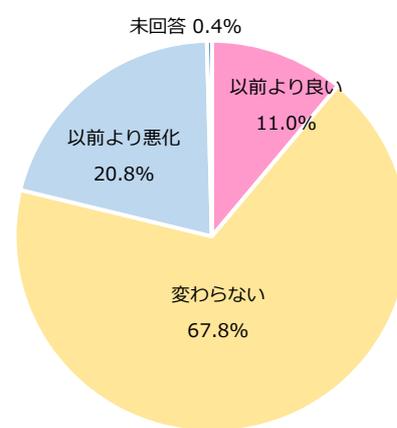
回答者に占める学年の割合



現在の住まいについて



4月以降の食生活について



全体の約70%が実家で暮らしています。ひとり暮らしをしている学生は約23%ですが、これを学年別に調べてみたところ、1年生が約16%に対し、2～4年生は約25%となっていました。

一方、食生活の変化で「以前より悪化」を選んだのは1年生の方が多く、実家住まいではあるものの、高校時から比較して生活が変化したことがわかりました。



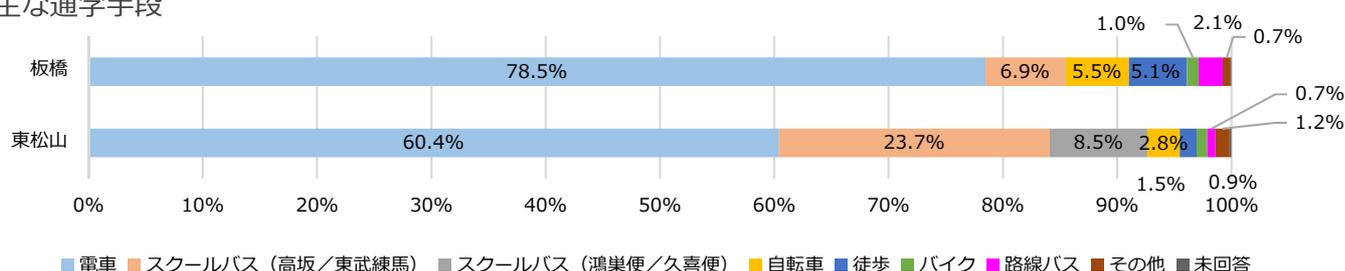
POINT

続いて、学生の所属校舎別にみた、主な通学手段と通学時間です。最も利用時間が長いものを選んでいただきました。また、実家に戻っている学生には、ひとり暮らしをした場合で回答していただきました。

両校舎ともに、電車通学の割合がもっとも高い結果となりました。校舎ごとの特徴として、東松山校舎は、主な交通手段がスクールバスの学生が23.7%と、板橋校舎の6.9%と比較して、キャンパス近隣に住んでいる学生が多いようです。

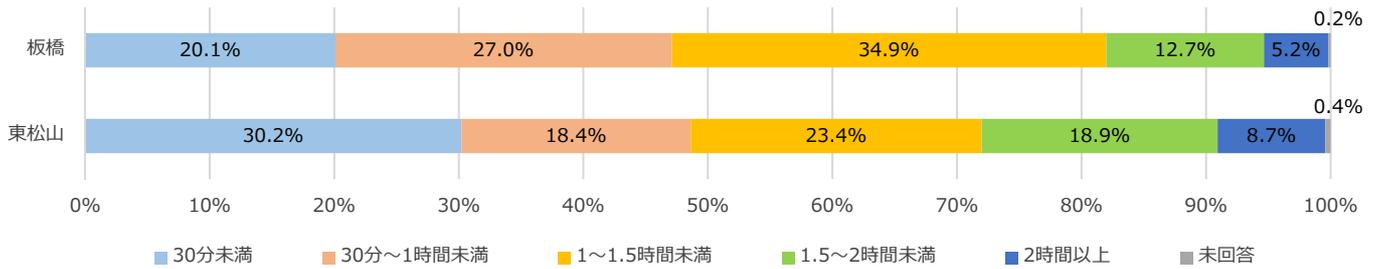
一方で、通学時間が2時間を超える学生の割合も、板橋校舎よりも東松山校舎の方が高く、電車の乗車時間や鴻巣・久喜便の利用者の影響によるものと考えられます。

主な通学手段



2020年度学生生活調査の結果について

通学にかかる時間

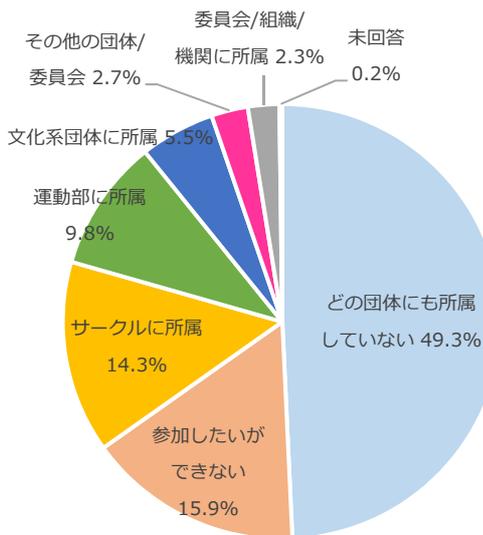


POINT

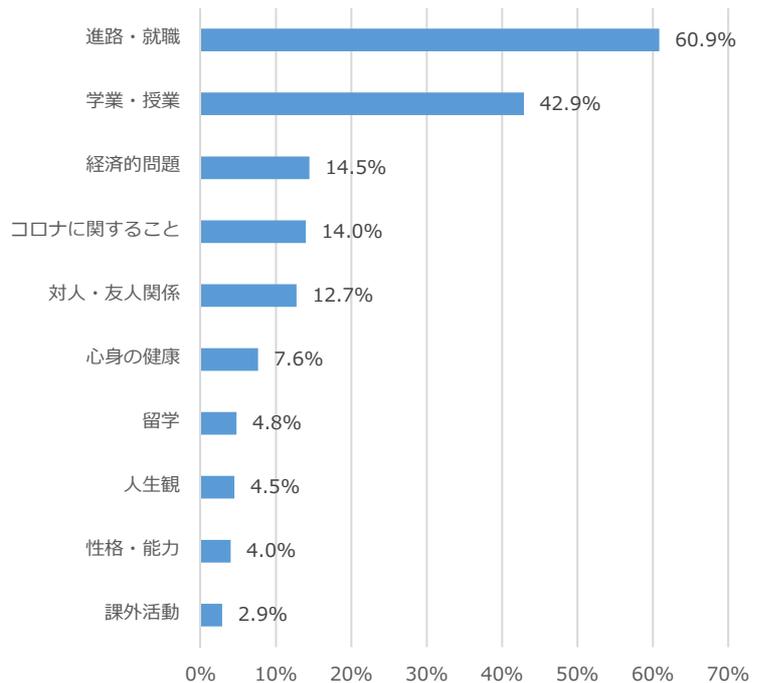
続いて、課外活動や悩み事に関する結果です。課外活動は、参加していない学生が約50%、何らかの活動を行っている学生が約35%でした。「参加したいができない」を全学生で見ると15.9%ですが、これを学年別に調べてみると、1年生では約43%にのぼりました。

不安や悩みでは、各学年ともに「進路・就職」「学業・授業」が上位2位を占めました。学年別に調べてみると、1年生が上級生よりも「対人・友人関係」での割合が高い結果となりました。大学内の交友関係が構築できず、不安を感じていることがわかります。相談相手は、友人・家族で70%を超えていました。

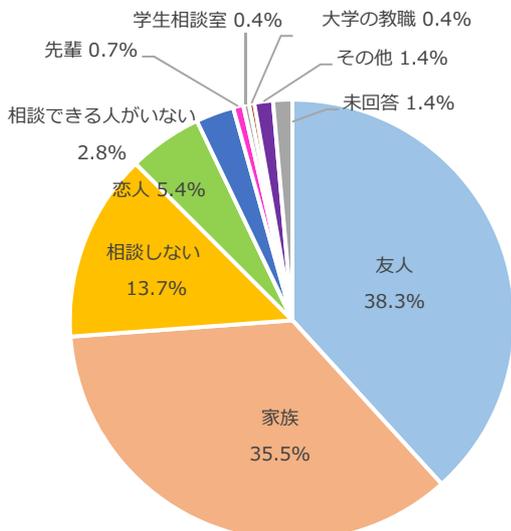
課外活動の参加状況



不安や悩みについて（主なもの2つ）



悩み事の相談相手



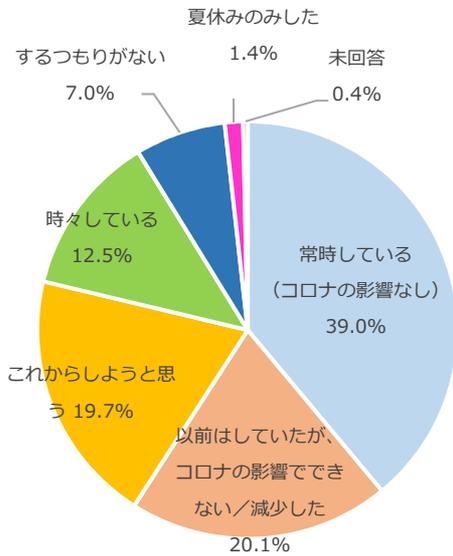
大学の学生相談室や保健室では、医師・カウンセラー、医師、看護師に相談できます。些細なことでもいいので、話してみませんか？もちろん、大学の教職員でも構いません！誰に相談していいかわからないこと、ひとりで抱え込まず、ご相談ください。



2020年度学生生活調査の結果について

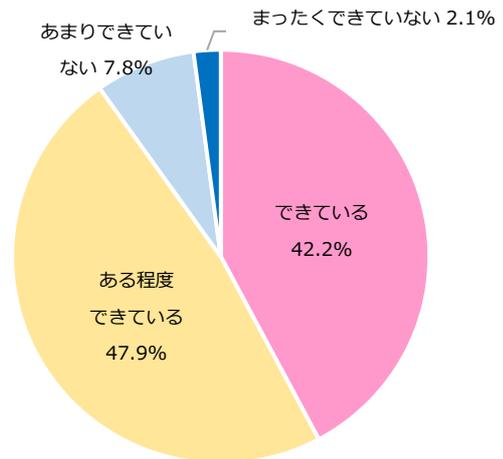
アルバイトに関する質問では、長期休暇を利用したアルバイトも含め、何らかアルバイトに従事している（していた）学生は70%以上でしたが、その中でコロナの影響を受けている学生も20%います。2～4年生を対象として実施した2019年度の調査（2019年3月実施）では、「常時している」「時々している」学生が81.9%いましたが、今回の調査では51.5%となり、一昨年と比較すると、アルバイト従事時間は減少していることが分かりました。

アルバイトについて



アルバイトと学業の両立

アルバイトを「常時している」・「以前はしていた」・「時々している」と答えた方3,439名

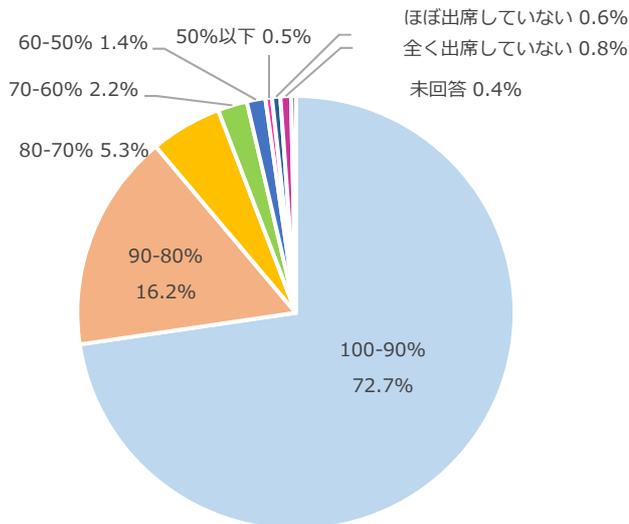


POINT

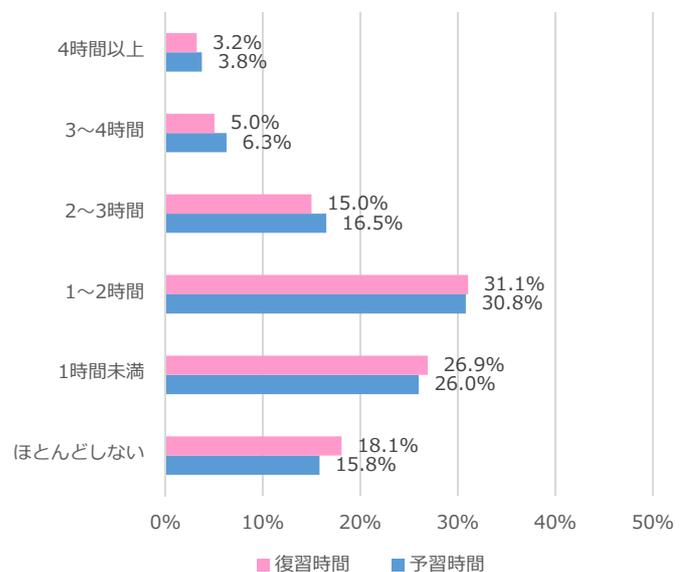


続いて、授業関連の調査結果です。まず出席率については、80%以上出席している学生が95%以上となりました。2～4年生を対象として実施した2019年度の調査（2019年3月実施）では、授業の予復習を「ほとんどしない」が50%を超えていました。今回の調査では、課題に取り組む時間を含んでいます。明らかに学修時間が増加しています。

授業の出席率



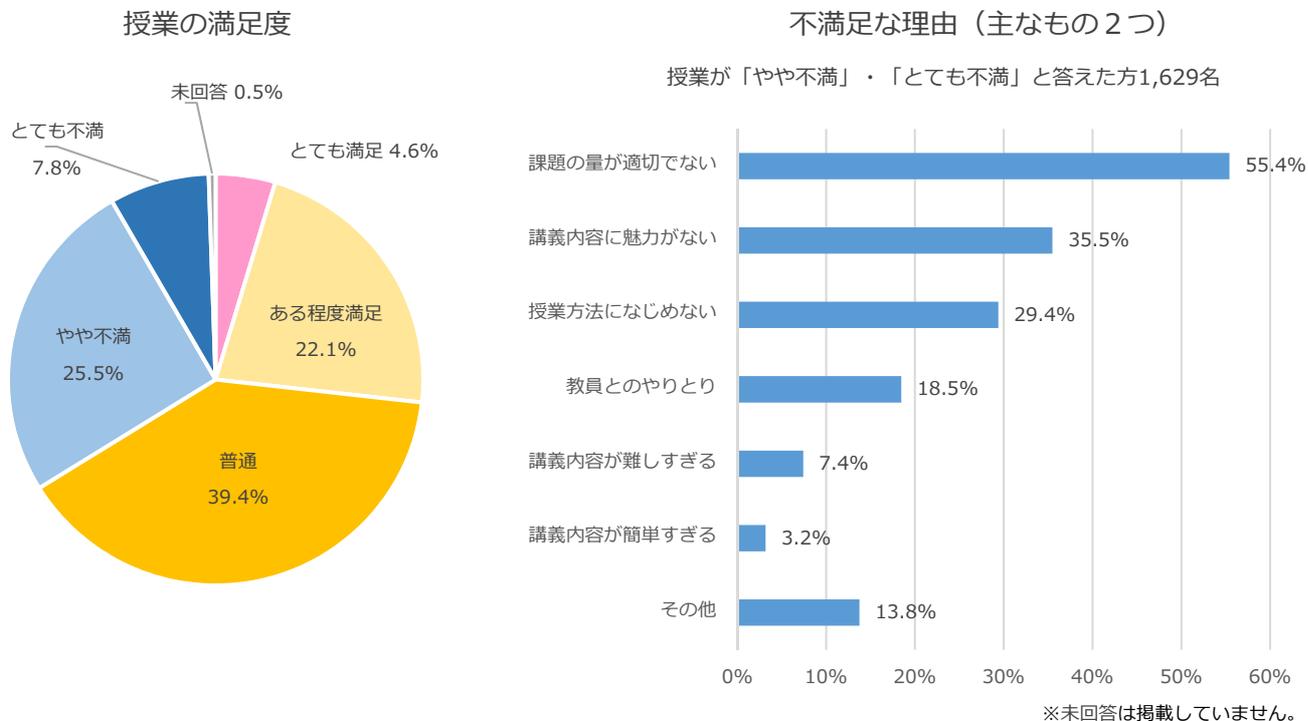
予習と復習にかかる時間



2020年度学生生活調査の結果について

前期授業に対する満足度のうち、「とても満足」「ある程度満足」と回答した学生が26.7%に対し、「やや不満」「不満」と回答した学生が33.3%という結果になり、肯定的な意見を上回りました。

不満に感じている内容は、「課題の量が適切でない」の割合が高く、約半数の学生が回答しています。予復習にかかる時間が増えたことは、課題の多さが影響していることであり、自由記述では、多くの科目で課題が出され、睡眠やアルバイト時間への影響を訴える声も多く聞こえました。

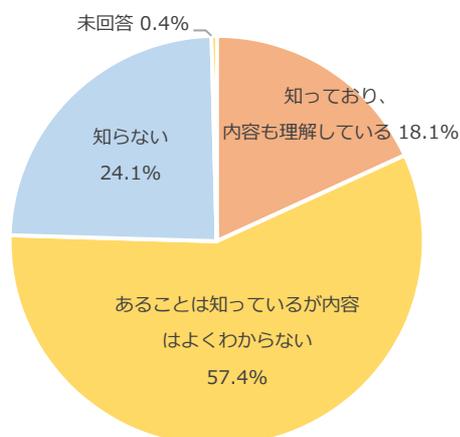


POINT

本学の建学の精神は、内容を知らない学生が80%以上と、知っている学生の18.1%を大きく上回りました。

※建学の精神とは、学校の開設にあたって、どのような人材を育成したいかの理念や気概、願いをうたいあげたもの。

本学の建学の精神を知っていますか？



大東文化大学の建学の精神
アジアから世界へ—多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造
漢学（特に儒教）を中心として東洋の文化を教授・研究することを通じて、その振興を図ると共に、儒教に基づく道義の確立を期し、更に東洋の文化を基盤として西洋の文化を摂取吸収し、東西文化を融合して新しい文化の創造を目指す。

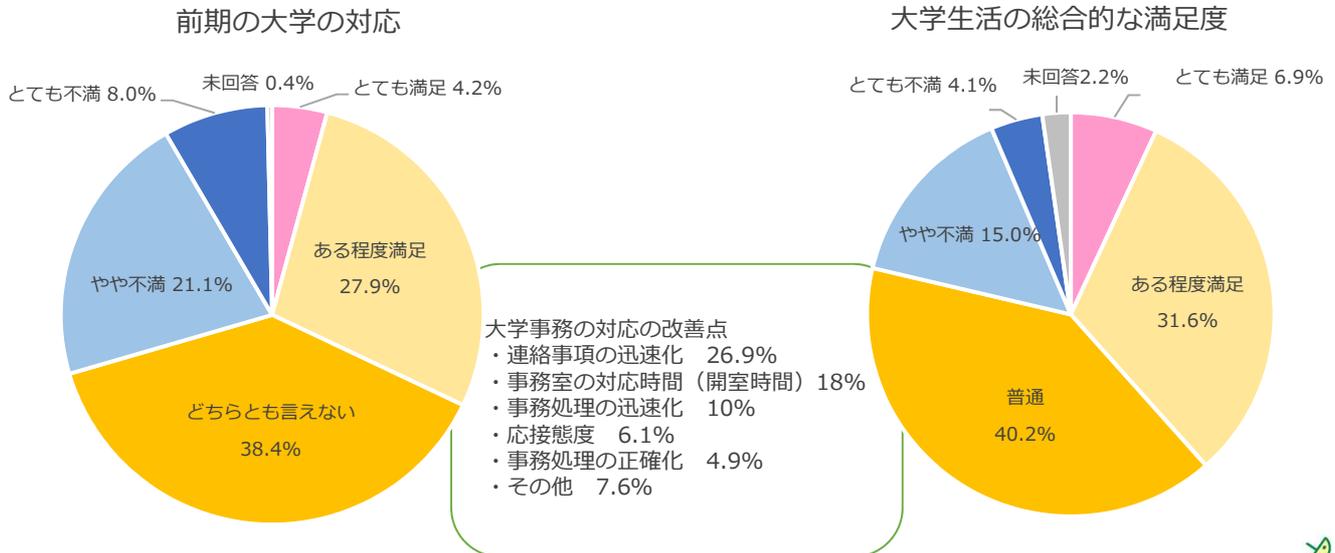
■ 2023年に迎える創立100周年に向けた6つのビジョンがあります ■

1. 主体的な学びにより、大東学士力を育てる「教育の大東」を実現する
2. 自主・参加・共同による学生生活を支援する
3. 「開かれた知の共同体」をつくり、大東文化らしい高度な研究を創造する
4. 国際的な学芸・教育のネットワークの拠点となり、世界に向けて発信する
5. 「学術の中心」として地域と連携・共同し、社会の発展に貢献する
6. 人権と自由を尊重し、公正な大学運営を行い、社会に信頼される組織となる

2020年度学生生活調査の結果について

大学の対応に対する満足度では、「とても満足」「ある程度満足」が32.1%、「やや不満」「不満」が29.1%、「どちらとも言えない」38.4%という結果と、ほぼ3分する結果となりました。

大学生生活の総合的な満足度では、「とても満足」「ある程度満足」が38.5%、普通40.2%、「やや不満」「とても不満」19.1%となり、肯定的に感じている学生が多いことがわかりますが、これを学年別で調べてみると、2～4年生の肯定的回答（とても満足・ある程度満足）は45.7%に対し1年生が24%、否定的回答（やや不満・とても不満）は2～4年生11.9%に対し1年生33.5%と、上級生と新入生で結果がわかりました。



最後に、自由記述欄には、2019年度調査の約330件を大きく上回る1,399件（特になし147件を含む）のコメントが寄せられました。自由記述欄は、選択式の回答と切り離し、個人が特定されない形式で集計しました。

学費に係る内容	342件
授業・成績に関する内容	271件
授業再開・行事再開を望む声	160件
友人・交友関係（交流の場が欲しい等）	119件
大学への感謝や前向きな声	91件
学生対応・対応について	66件
情報の伝達、システム（DB manabaやDBポータルについて等）	62件
経済的支援に関する内容	53件
施設・設備（スクールバス）に関する内容	41件
課外活動について	35件
教員の対応について	27件
学生支援（奨学金制度やキャリアセンター等）	23件
現状維持（オンライン授業等）を希望する内容	19件
その他の内容	43件
特になし	147件

※複数の内容が含まれているコメントは、メインとなる内容で分類しました。

学生の皆さんへ

学生支援センター所長 新里 孝一

本学では毎年、年度のはじめに、2～4年生を対象として学生生活調査を実施しています。この調査では、大東生の学修状況、課外活動、経済面を含めた生活環境の現状を捉え、学生の皆さんがより充実した学生生活を送れるよう活用することを目的としています。本報告では、調査項目の一部を抜粋していますが、実際には更に詳細な分析をしています。本調査以外にも、授業に関する調査（授業評価アンケート）、卒業時アンケートなど、年に数回の学生調査をおこなっています。また、文部科学省などの公的な機関より委託される調査もあり、随時学生の皆さんへ回答をお願いしています。これらの調査は、ひとりでも多くの方が回答することで、本学の大学運営のほか、国の施策に使われることもある貴重な資料となります。今後も、学生調査にご協力いただきますようお願いいたします。

さて、2020年度はコロナ禍のため、実施時期を変更したことから、初めて新入生に調査を実施しました。上級生の皆さんはもちろんのことですが、とりわけ新入生において、課外活動への参加や友だちづくりが十分でないことが浮き彫りになりました。今年度の学生たちは、様々な場面で我慢をし、慣れないことに取り組み、苦しい一年であったと思います。2021年度は、原則対面授業が主となる予定です。初めて大学へ来る学生もいるでしょう。わからないことは、どんな些細なことでも、教職員に聞いてください。我々は、皆さんの学びを全力でサポートします。